

サポートルーム

学級だより

2024年7月1日(月)
2024年度7月号

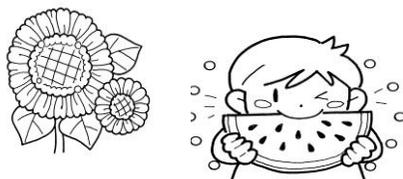
特別支援教室拠点校 町田市立町田第三小学校

梅雨の晴れ間にのぞく青空はまさに夏を感じさせるものとなりました。夏休み前の指導も残り3週間となりました。暑さも本格的になってきます。暑さに負けず集中して学習に取り組むことができるよう、子供たちの体調に気を配りながら指導にあたっていきます。最後まで元気に過ごし、楽しい夏休みを迎えてほしいと思います。

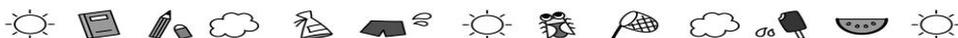
今後の予定

7月12日(金) サポートルーム指導終了

9月9日(月) サポートルーム指導開始



*12月退級予定の方は、夏休み前後にサポートルーム担当から今後についての確認やご相談のためにお電話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



ちょこっと指導

サポートルームでは、始めの会のときにグループ全員で少だけ行う「ちょこっと指導」という活動を取り入れています。ストレッチや読み聞かせなど、内容は学年や月ごとに変わります。

6月は、低学年グループは「しりとり」、高学年グループは「マジカルバナナ」を行いました。どちらも3分間で言葉を出し合います。低学年グループでは、しりとりの言葉が出てこないときは、「ヒントを下さい。」や「教えて下さい。」と言い、みんなで教え合いながら進めました。最初は、助けを求められず悩んでいた子ども、だんだんと「ヒントを下さい！」と上手に助けを求めることができるようになりました。高学年グループは、「バナナと言ったら黄色」というように言葉を連想させるゲームをしました。「こんなものを連想するのか！」と、みんなの考えが分かり、楽しみながら取り組みました。

町田第三小学校

低学年「よく見よう」

先生の視線や指の先を見たり、動くものを目で追ったりする活動を行いました。「フライングクイズ」では、一瞬で通り過ぎるものを見逃さないように目を凝らし、「あ、上履きだ!」「よく見たらりんごだ!」と一問ごとに大喜びでした。

高学年「情報ゲーム」

それぞれが持っている情報を出し合って、みんなで絵を完成させる活動です。情報を聞き逃さないようによく聞いたり、「情報があります!」と関連する情報を伝え合ったりしながら活動しました。絵が完成できると嬉しそうなお表情でした。

町田第五小学校

低学年「どんな気持ち」

気持ちの言葉をたくさん知り、その言葉を使って様々な場面でどんな気持ちになるのか考えました。「雪が降ったら友達を呼んで雪遊びができるからわくわくする!」「僕は寒くてがっかりかな。」と、自分の気持ちを説明することができました。

高学年「協力ゲーム」

友達と動きを合わせたり相談したりするためにゲームをしました。「協力迷路」はペンについたひもを一人一本持ち、大きな迷路に挑戦しました。「ひもを短く持つのはどう?」「確かに。そうかも!いいね。」などと、言葉をかけ合いながら取り組むことができました。

南第一小学校

低学年「ゴムゴムで運べ」

みんなで輪ゴムにつながったひもを1本ずつ持ち、輪ゴムの開き具合を操作して、紙コップや空き缶などを運びました。「せーの!」「次は、ペットボトルを運んでもいい?」など動きを合わせたり、相談をしたりしながら運ぶことができました。

高学年「体を動かそう」

指示通り体を動かすことを目標にいろいろな運動をしました。立位バランスでは、目を閉じて片足で立ったり、飛行機のポーズで立ったりしました。どのポーズでもぴたっと静止してバランスをとることができるので感心しました。